

令和4年10月 発地別延べ宿泊者数割合

(単位：人泊、%)

【国内】

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和4年10月(速報値)	52,613	90,876	55,552	8,046	19,529	26,868	14,410	50,133	6,430	324,457
令和3年10月(確報値)	50,957	86,021	37,410	4,398	13,752	19,396	7,554	37,542	4,007	261,037
前年同月比	103.2	105.6	148.5	182.9	142.0	138.5	190.8	133.5	160.5	124.3
令和2年10月(確報値)	49,036	105,167	49,543	4,877	15,354	24,572	7,829	31,673	2,643	290,694
令和2年同月比	107.3	86.4	112.1	165.0	127.2	109.3	184.1	158.3	243.3	111.6
令和元年10月(確報値)	41,640	94,881	61,361	10,469	26,643	27,985	15,534	48,376	5,516	332,405
令和元年同月比	126.4	95.8	90.5	76.9	73.3	96.0	92.8	103.6	116.6	97.6
令和4年9月(速報値)	58,415	98,756	50,304	5,133	16,520	20,775	11,019	44,434	4,176	309,532
前月比	90.1	92.0	110.4	156.8	118.2	129.3	130.8	112.8	154.0	104.8

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和4年10月(速報値)	9,221	158	841	201	1,179	1,026	1,127	13,753
令和3年10月(確報値)	218	11	8	1	10	1,013	101	1,362
前年同月比	4229.8	1436.4	10512.5	20100.0	11790.0	101.3	1115.8	1009.8
令和2年10月(確報値)	5	17	5	0	0	1,108	142	1,277
令和2年同月比	184420.0	929.4	16820.0	-	-	92.6	793.7	1077.0
令和元年10月(確報値)	5,788	8,292	8,276	12,082	2,972	3,495	40,231	81,136
令和元年同月比	159.3	1.9	10.2	1.7	39.7	29.4	2.8	17.0
令和4年9月(速報値)	1,945	61	15	13	306	480	829	3,649
前月比	474.1	259.0	5606.7	1546.2	385.3	213.8	135.9	376.9

* 発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和4年10月(速報値)	338,210
令和3年10月(確報値)	262,399
前年同月比	128.9
令和2年10月(確報値)	291,971
令和2年同月比	115.8
令和元年10月(確報値)	413,541
令和元年同月比	81.8
令和4年9月(速報値)	313,181
前月比	108.0

- ①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設(187施設 令和4年1月時点)
- ②令和元年、令和2年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。
- ③発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

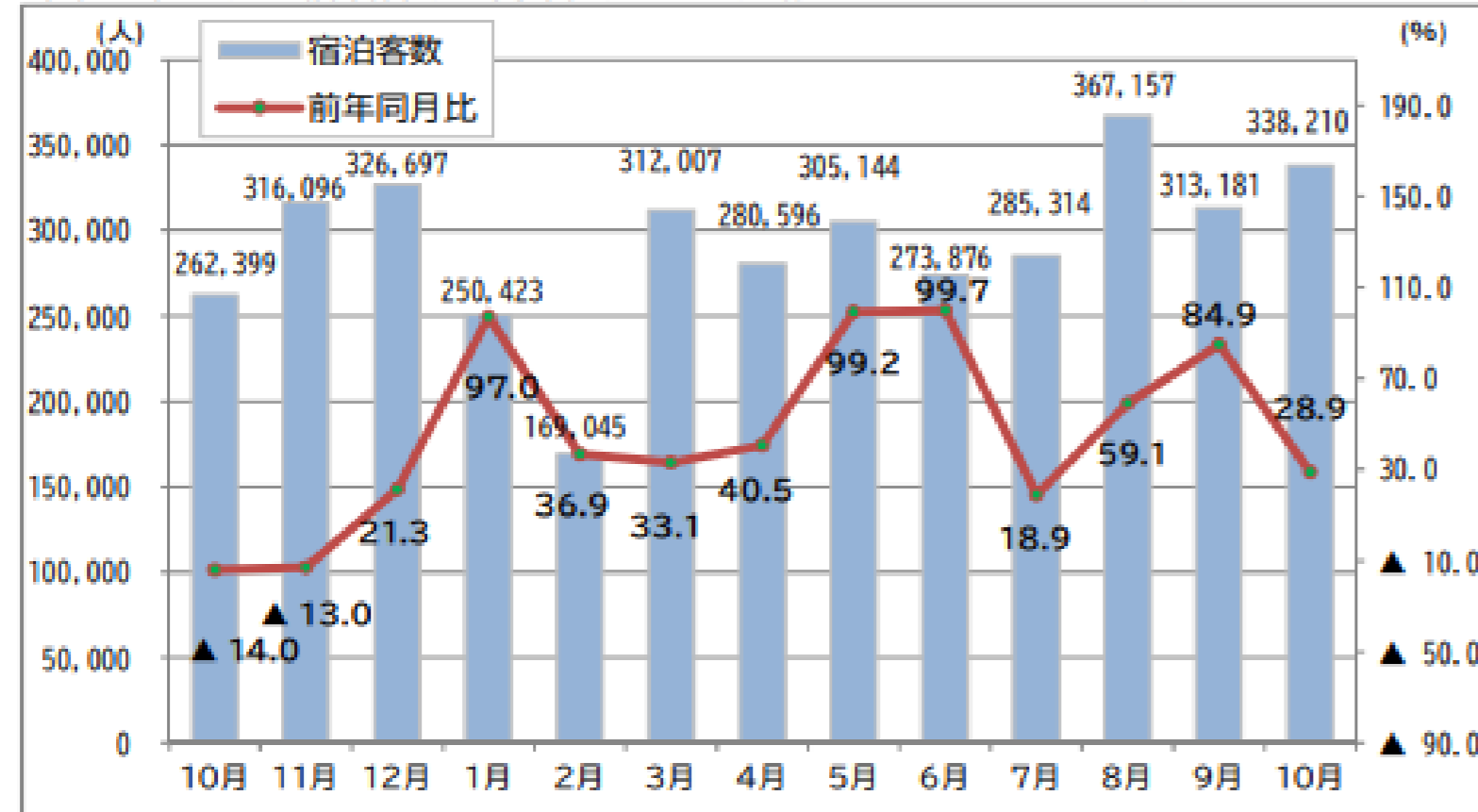
<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は、前月比104.8%、前年同月比124.3%。10月11日より全国旅行支援がスタートしたことなどから、特に九州外からの宿泊者が前年に比べて増加しており、コロナ禍前の令和元年と比較しても97.6%まで戻った。
- ・国外の延べ宿泊者数は、前年同月比1009.8%、令和2年同月比1077.0%。10月11日より入国者数の上限撤廃など水際対策が更に緩和されたことなどにより、前月比376.9%と増加した。
特に韓国はコロナ禍前の令和元年と比べても159.3%と増加しているが、令和元年10月はラグビーW杯の影響で特に欧米豪からの旅行者が多かった月でもあるため、全体としては令和元年同月比は17.0%にとどまった。
- ・全体の延べ宿泊者数は、前月比108.0%、前年同月比128.9%、令和2年同月比は115.8%。コロナ禍前の令和元年同月比は81.8%となっている。

令和4年10月の宿泊客等の動向
(令和3年10月～12月確報、令和4年1月～10月速報)

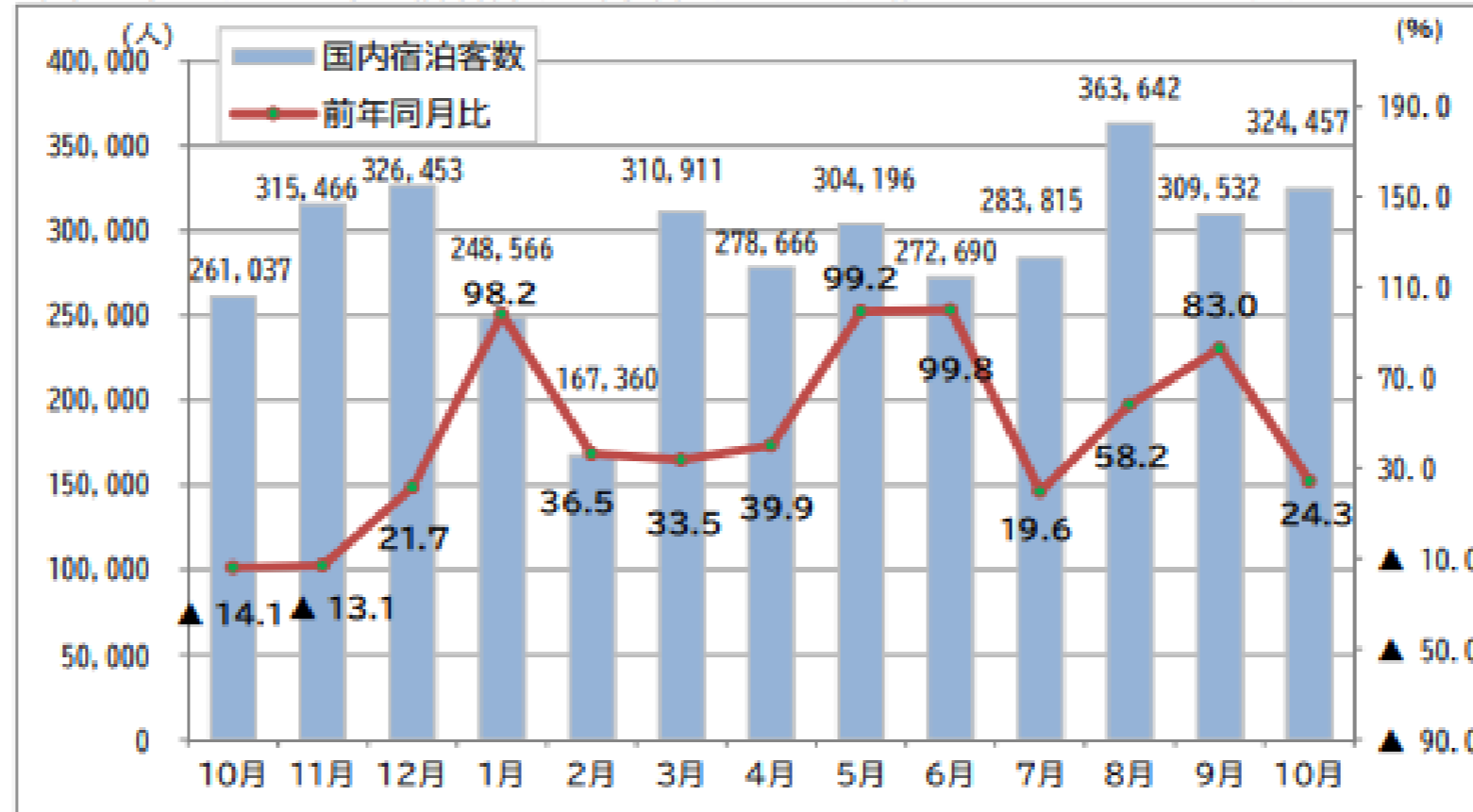
(1) 宿泊客の動向

令和4年10月の宿泊客数の前年同月比は、速報で+28.9%となる見込み。



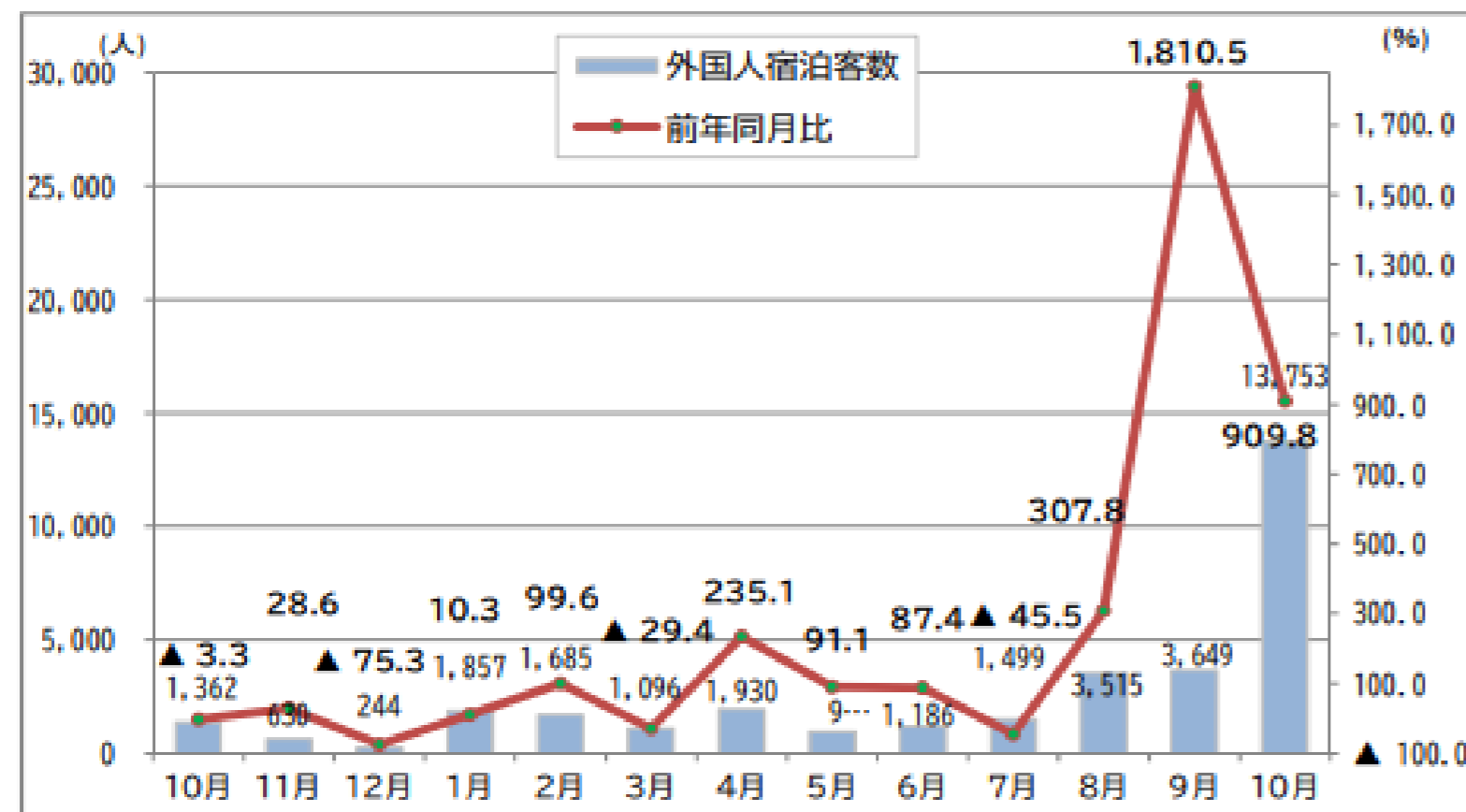
(1)-①日本人宿泊客の動向

令和4年10月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速報で+24.3%となる見込み。



(1)-②外国人宿泊客の動向

令和4年10月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速報で+909.8%となる見込み。

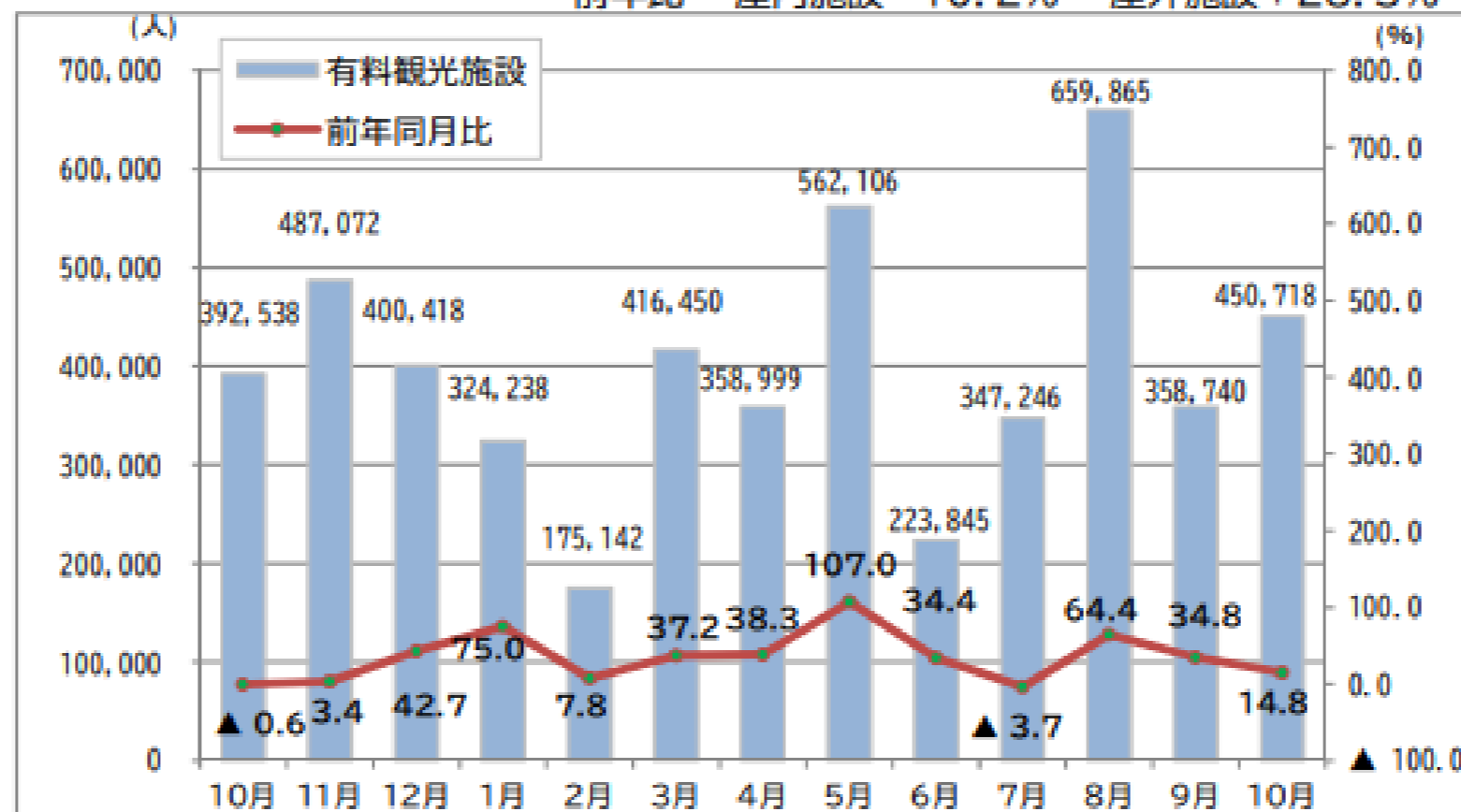


(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和4年10月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速報で+14.8%となる見込み。

(調査対象施設29施設)

前年比 屋内施設-10.2% 屋外施設+28.3%



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- 日本人宿泊客は、昨年9月末に全国的に行動制限が解除となり、「新しいおいた旅割」も再開したことなどから10月・11月の宿泊者数は増加傾向となった。12月6日からは「新しいおいた旅割」の対象に近隣県も加わったことなどから更に増加したが、オミクロン株の感染拡大の影響により県内でもまん延防止等重点措置が適用となった1月・2月は2か月連続で減少となった。3月に入り全国各地でまん延防止等重点措置が解除されたことなどから、第6波の前と同水準まで持ち直し、4月・5月・6月は行動制限がなかったことなどから高水準が続いた。7月・8月も感染者数こそ急増したものの、全国的に特に行動制限がなかったことなどから宿泊者数は増加傾向が続き、10月には全国を対象とした旅行支援もスタートしたことなどから引き続き高水準が続いている。
- 外国人宿泊客は、6月10日より観光目的の入国が条件付きで解除された後徐々に戻りが見られ、10月には更なる水際対策の緩和の影響で大幅に増加したものの、未だコロナ禍前の水準には戻っていない。
- 全体においては、入国制限の緩和や旅行支援の影響などから徐々にコロナ禍前の水準に戻つつあるものの、特にインバウンドの完全な回復にはまだ時間がかかると思われる。